

# ■中期実行計画の検証

## 1 成果指標の進捗

2014年度（平成26年度）から2017年度（平成29年度）までを計画期間とする中期実行計画では、「地域経済の活性化」、「健康で心豊かなまちづくり」、「安心・安全なまちづくり」の3つの方向性とそれらを支える「まちづくりの共通基盤」で体系立て、まちづくりを進めてきました。

これらの取組について、現時点（2016年度末）で確定している成果指標の進捗率は、以下に示す表のとおり、全指標158のうち142（89.9%）が進捗率75%以上となっており、概ね順調に推移しています。

### <中期実行計画・目標指標の進捗状況>

進捗率	25%未満	50%未満	75%未満	75%以上	その他	合計
① 地域経済の活性化	2	0	4	66	1	73
② 健康で心豊かなまちづくり	0	3	3	43	1	50
③ 安心安全なまちづくり	1	0	1	26	0	28
④ まちづくりの共通基盤	0	0	0	7	0	7
合計	3	3	8	142	2	158
全体に占める割合	1.9 %	1.9 %	5.0 %	89.9 %	1.3 %	100 %

### (1) 地域経済の活性化

「地域経済の活性化」の取組については、73項目のうち66項目（90.4%）が75%以上の進捗となっており、順調に推移しています。主な取組状況は、以下のとおりです。

### <産業力強化・雇用対策>

- 「第2次宇部市産業力強化・雇用対策アクションプラン」による雇用創出に取り組んだ結果、目標とする雇用創出人数を前倒しで達成するなど、雇用対策の効果が現れています。
- 山口県産業技術センターやMCC（宇部メディカルクリエイティブセンター）等との連携による研究開発に取り組んだ結果、新事業・新産業の創造に向けた研究開発の実用化・商品化などが進んでいます。

成果指標	目標値	実績（H28末）	進捗率
「宇部市産業力強化・雇用対策アクションプラン」等による雇用創出人数（累計）	2,000	2,444	達成
産学公連携による研究開発の実用化、事業化、起業化件数（累計）	125	125	達成

### <低炭素まちづくり>

- 中心商店街の空き店舗率は目標に達するなど、中心市街地のにぎわい創出に向けた取組は概ね順調に進んでいますが、中心市街地の休日一日当たりの通行者数が目標値に達成していないことから、にぎわいのある「宇部の顔づくり」に向けた更なる取組が必要です。
- 環境関連企業の誘致や、バイオマスタウン構想による新ビジネスの創出に関する取組は概ね順調に推移しています。資源循環型社会の形成とともに、スマートコミュニティの推進など、エネルギーを効率的に利活用するまちづくりや環境ビジネス創出の取組を更に進めていく必要があります。
- 一人一日当たりのごみ排出量が目標値に達していないことから、事業所ごみを中心とした効果的な指導や家庭ごみのリサイクルループの構築など、ごみの減量化への取組を強化する必要があります。

成果指標	目標値	実績（H28末）	進捗率
中心商店街の空き店舗率（%）	10以下	9.9	達成
中心市街地の休日一日当たりの通行者数	13,100	10,642	81.2%
環境関連誘致企業数（累計）	8	7	87.5%
バイオマスタウン構想による新ビジネス創出件数（累計）	4	4	達成
スマートコミュニティモデル事業の実施箇所数（累計）	4	2	50.0%
1人1日当たりのごみ排出量（g）	900	1,050	1.3%

### <ときわ公園全国ブランド化>

- ときわ公園の入園者数は目標値を大きく上回っており、ときわ動物園のリニューアル、イベントの充実など新しい魅力づくりが、観光客数の増加など、交流人口の増加につながっています。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
ときわ公園入園者数 (万人/年)	50.0	70.5	達成

### <観光・にぎわい>

- 産業観光バスツアーの参加者やうべふるさとツーリズムへの参加が増えるなど、本市を訪れる観光客の増加に向けた取組は概ね順調に進んでいます。
- 国際定期便を含め、山口宇部空港を利用するチャーター便の運航回数は増加し、目標を大きく上回っています。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
産業観光バスツアー参加者数 (人/年)	3,000	2,587	86.2%
山口宇部空港を利用するチャーター便の運航回数 (回/年)	21	70	達成

### <中山間地域>

- 中山間地域への移住・定住件数は、目標を上回っており、起業等の件数も増えるなど、中山間地域の振興・活性化に向けた取組が進んでいます。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
中山間地域への移住・定住件数 (累計)	6	23	達成
中山間地域での起業等件数 (累計)	6	9	達成

## (2) 健康で心豊かなまちづくり

「健康で心豊かなまちづくり」の取組については、50項目のうち43項目(86.0%)が75%以上の進捗率となっており、概ね順調に推移しています。主な取組状況は、以下のとおりです。

### <子育て・教育>

- 学童保育や病児・病後児保育の実施など、共働き家庭の増加に対応した子育て環境の整備により、安心して子育てできる環境づくりが進んでいます。
- 小中学校の全国学力学習状況調査の結果は、基準年(2012年)との比較では上昇していますが、目標値には達していないことから、子どもの学力を支える学校教育の更なる充実が必要です。

成果指標	目標値	実績 (H28 末)	進捗率
学童保育利用児童数 (人/年)	1,700	1,901	達成
病児・病後児保育利用延べ人数 (人/年)	6,800	9,754	達成
全国学力・学習状況調査の結果 (全国の正答率を 100 とした指数) : 小学校	100	99.5	99.5%
全国学力・学習状況調査の結果 (全国の正答率を 100 とした指数) : 中学校	102	101.2	99.2%

### <医療・健康・長寿>

- 地域ケア事業の増加とともに、地域福祉の活動拠点も増加するなど、地域における医療福祉連携による安心な地域づくりが進んでいます。しかし、今後も更に高齢化が進むものと見込まれることから、独居高齢者や認知症高齢者の見守りを強化していく必要があります。
- 40 歳代・50 歳代の特定健康診査の受診率が継続的に増加するなど、健康づくりの取組が進んでいます。しかし、一方では心身ともにより元気になることを目的としたはつらつポイント登録者数が目標値に達しておらず、健康長寿社会の実現に向けて、誰もが主体的に健康づくりができるよう、さらに取組を進めていく必要があります。

成果指標	目標値	実績 (H28 末)	進捗率
地域ケア事業数 (累計)	6	12	達成
地域福祉の拠点の活動箇所数 (累計)	24	46	達成
地域であんしん見守り愛ネット登録団体数 (累計)	50	33	66.0%
40歳代・50歳代の特定健康診査の受診率 (%)	20.0	18.7	93.5%
はつらつポイント登録者数 (累計)	10,000	4,413	44.1%

### <文化・スポーツ>

- 彫刻教育への参加者数が目標を大きく上回るなど、地域資源を活用した文化に親しむまちづくりが進んでいます。
- 週 1 回以上スポーツを行う成人の割合が目標値を大きく上回るなど、スポーツに親しむ機会やスポーツを楽しむ人が増えています。

成果指標	目標値	実績 (H28 末)	進捗率
彫刻教育推進事業参加者数 (人/年)	1,200	5,267	達成
週 1 回以上スポーツを行う成人の割合 (%)	60.0	72.0	達成

### (3) 安心・安全なまちづくり

「安心・安全なまちづくり」の取組については、28項目のうち26項目(92.9%)が75%以上の進捗率となっており、概ね順調に推移しています。主な取組状況は、以下のとおりです。

#### <防災・都市基盤>

- 小中学校施設の耐震化率は目標値を超えており、地域住民の防災機能も兼ねる学校施設の耐震化が順調に進んでいます。
- 高潮対策工事や海岸保全、危険ため池の整備などが進んでいますが、災害に強い安全なまちづくりに向け、引き続き取り組んでいく必要があります。
- 道路事業や宇部港東見初地区事業は目標値をほぼ達成し、市営住宅の建替戸数や市営住宅ストックの改善状況も、概ね順調に進んでいます。
- 「あんしん歩行エリア」及びその周辺の交差点段差解消箇所数も概ね目標値を達成するなど、歩行者と自転車にやさしい都市環境整備や事故の起こりにくい安全なまちづくりが進んでいます。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
小中学校施設耐震化率 (%)	88.0	90.1	達成
宇部港高潮防災工事進捗率 (%)	36.7	28.7	78.2%
床波漁港海岸保全事業進捗率 (%)	68.3	58.5	85.7%
危険ため池の整備済み箇所 (累計)	38	38	達成
桃山地区事業進捗率 (事業費ベース・%)	80.0	71.0	88.8%
道路事業進捗率 (事業費ベース・%) [岩鼻中野開作線・西宇部妻崎線・立熊沖田線・鍋倉草江線]	100.0	98.6	98.6%
宇部港東見初地区事業進捗率 (事業費ベース・%)	98.2	97.9	99.7%
市営住宅建替戸数 (累計)	423	336	79.4%
市営住宅ストック改善進捗率 (%)	61.0	52.0	85.2%
「あんしん歩行エリア」及びその周辺の交差点段差解消箇所数 (累計)	549	516	94.0%

### <地域・安心・人権>

- 元気・安心・地域づくり事業の実施校区が全校区に広がるとともに、地域運営の指針となる地域計画が全校区で策定されるなど、地域コミュニティ活動の活性化に向けた取組が進められています。
- 交通事故・人身事故の発生件数が大きく減少するなど、事故の起こりにくい安全なまちづくりが進んでいます。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
元気・安心・地域づくり事業実施校区数 (累計)	24	24	達成
人身事故発生件数 (件/年)	800	637	達成

### (4) まちづくりの共通基盤

「まちづくりの共通基盤」の取組については、全てが進捗率 75%以上となっており、順調に推移しています。主な取組状況は、以下のとおりです。

- ふるさと元気懇談会やうべ弁ミーティングの開催など、市長と市民との直接対話の機会が増え、まちづくりへの市民参画の機会が広がっています。
- 市債発行額のコントロールや、第三セクター等改革推進債の繰上償還等に努めた結果、一般会計地方債残高は目標を超えて減少し、財政の健全化が進んでいます。
- 公共施設の耐震化率もほぼ目標値に達しており、まちづくりの基盤整備が進んでいます。

成果指標	目標値	実績 (H28末)	進捗率
市長と市民等との直接対話の場を創出する回数 (回/年)	30	30	達成
第二次行財政改革加速化プランの推進に伴う一般・特別会計予算の節減効果額 (億円) (累計)	10	31.8	達成
一般会計 地方債残高 (億円)	現状値より 50 億円減少	681.7	達成
公共施設の耐震化率 (延床面積ベース・%)	84.0	82.0	97.6%

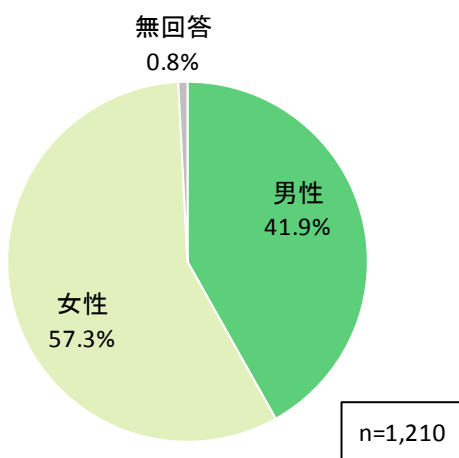
## 2 市民意識の動向

中期実行計画に基づき進めてきた取組について、市民意識調査（アンケート調査）を行いました。

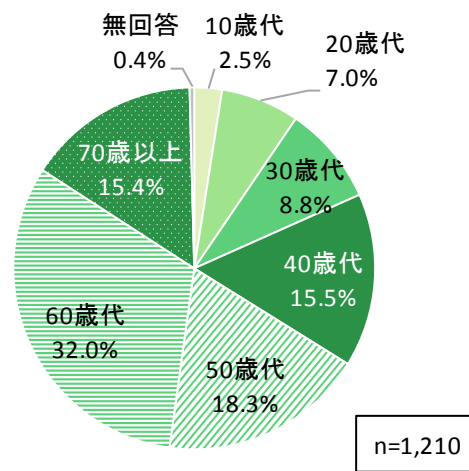
調査対象	宇部市に居住する18歳以上の3,000人を無作為に抽出 (抽出にあたっては、各校区別の人口比及び男女比を考慮して、比例配分方式により校区ごとに対象者を設定)
調査期間	2017年8月～9月
回収状況	有効回答数 1,210 (回収率 40.3%)

### (1) 回答の属性

<性別>



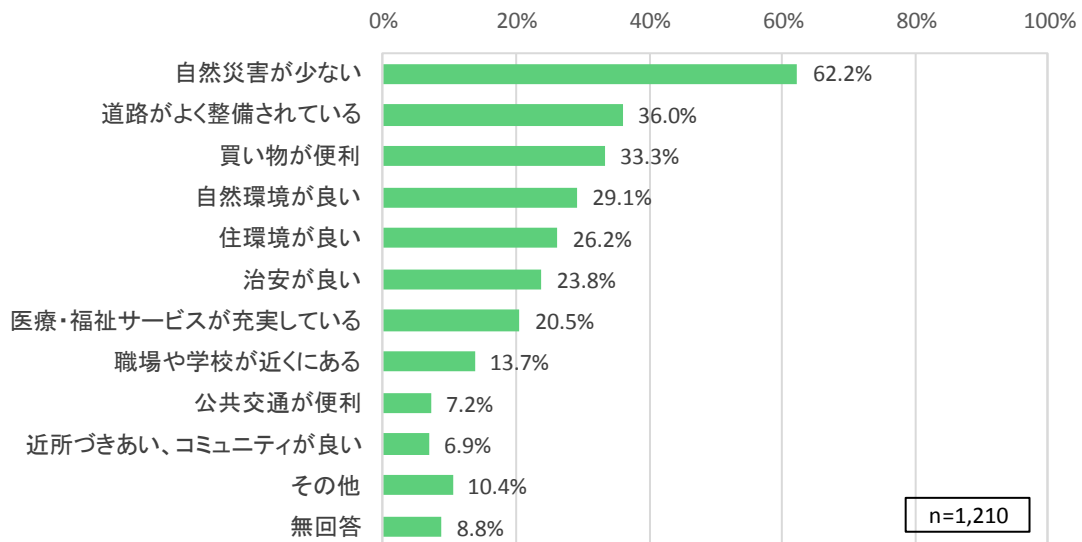
<年齢>



### (2) 宇部市の住みやすさ・住みにくさ

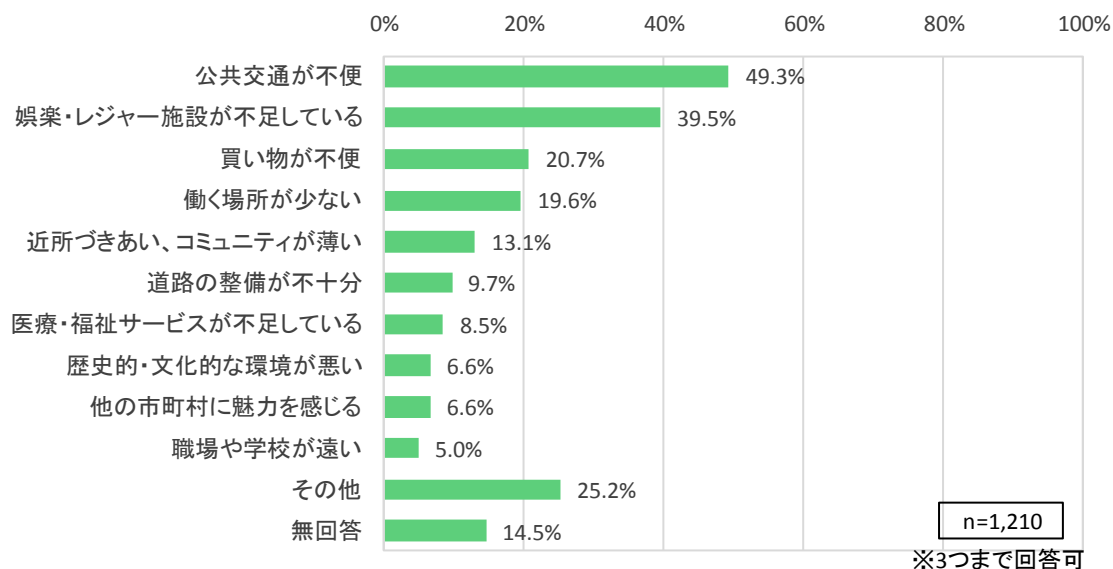
「自然災害の少なさ」が宇部市の住みやすさとして評価（62.2%）される一方で、住みにくさとして、「公共交通が不便」（49.3%）、「娯楽・レジャー施設の不足」（39.5%）などが挙げられています。

<宇部市の住みやすさ>



※3つまで回答可

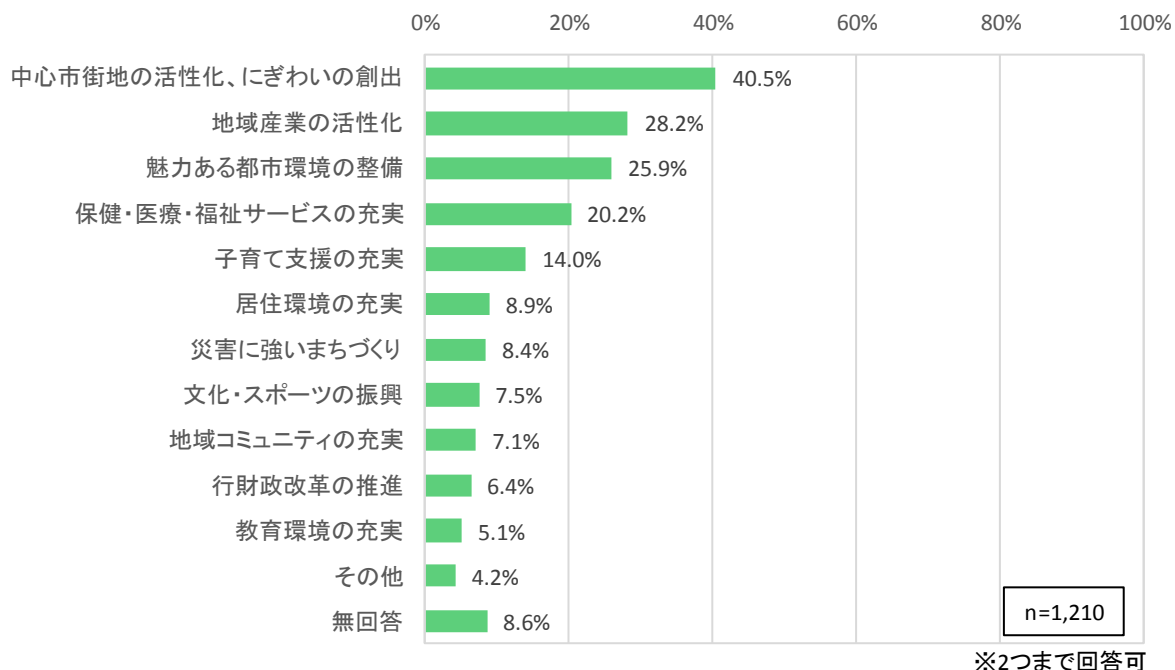
### <宇部市の住みにくさ>



### (3) 住みやすいまちづくりのために重点を置くべき取組

「中心市街地の活性化・にぎわいの創出」(40.5%)や「地域産業の活性化」(28.2%)、「魅力ある都市環境の整備」(25.9%)などが挙げられています。

### <重点を置くべき取組>



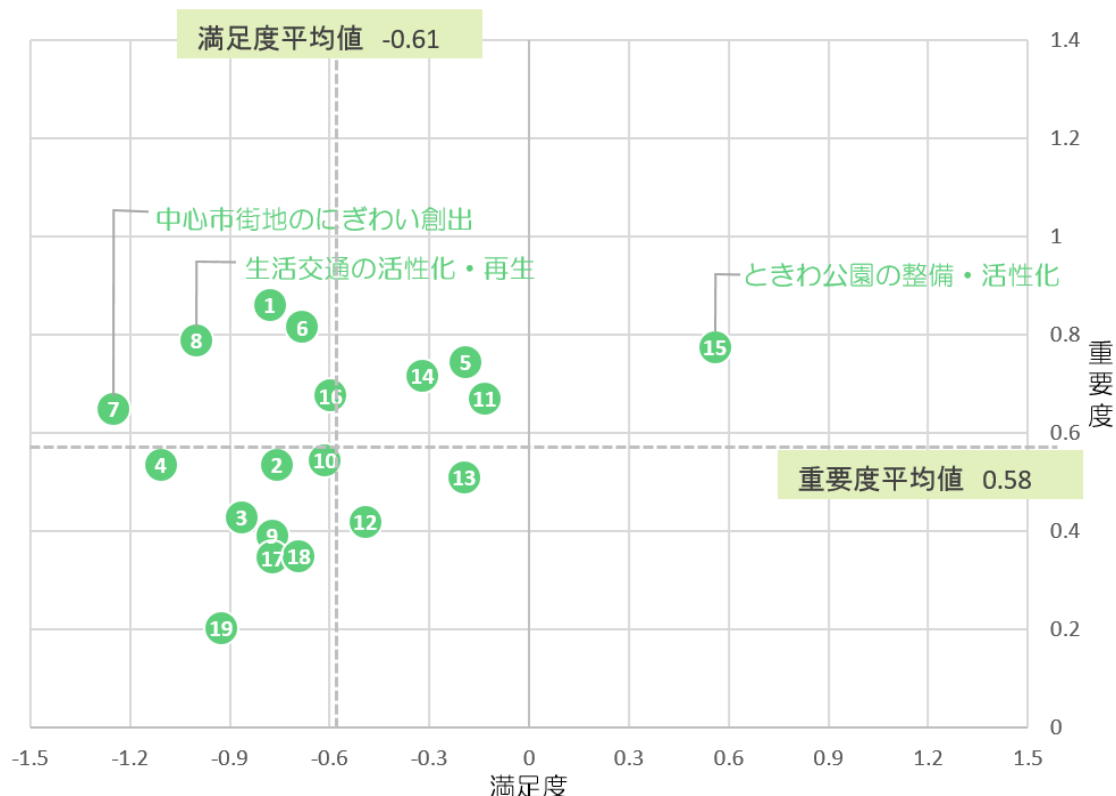


#### (4) 中期実行計画の取組に関する満足度・重要度

##### 【地域経済の活性化】

ときわ動物園やときわミュージアムのリニューアルが相次いだこともあり、「ときわ公園の整備・活性化」への満足度が最も高くなっています。

一方で、重要な取組と認識されているものの、満足度が平均値よりも低い取組として、「中心市街地のにぎわい創出」や「生活交通の活性化・再生」などが挙げられています。



※満足度：「低い」-1、「やや低い」-2、「やや高い」1、「高い」2点とした場合の平均値

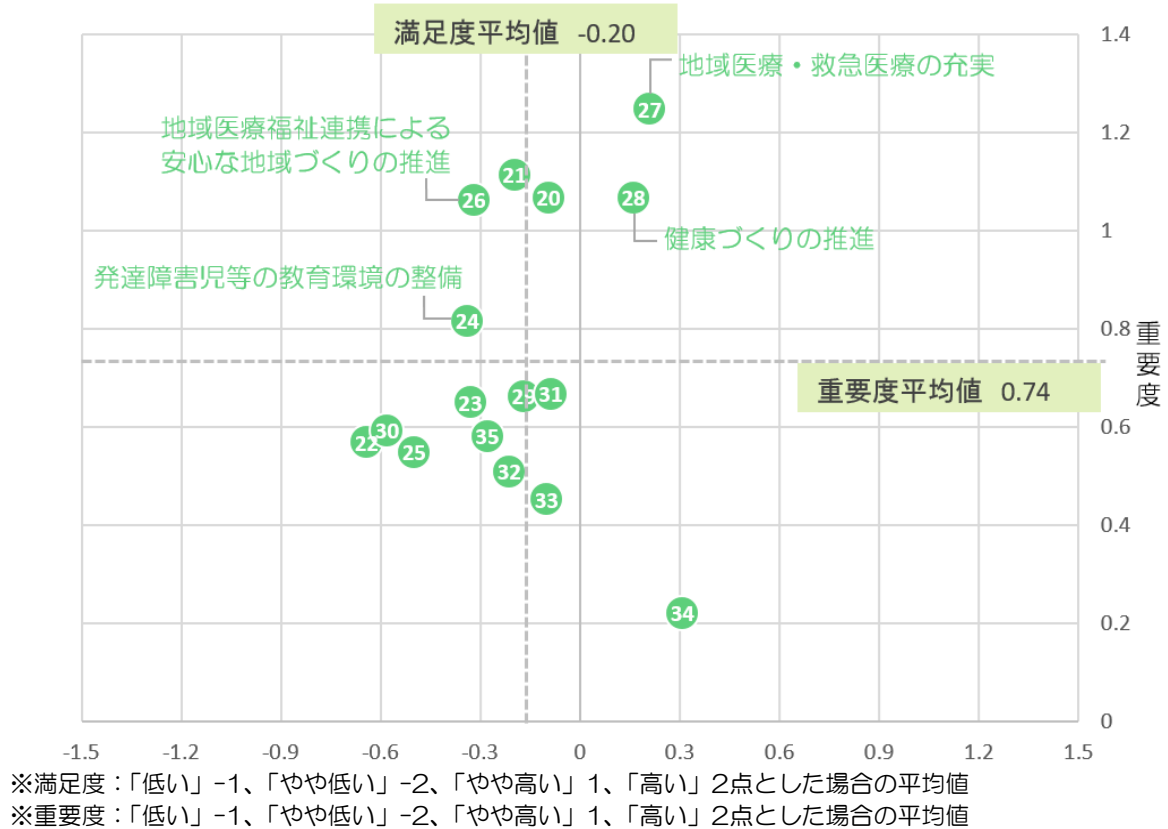
※重要度：「低い」-1、「やや低い」-2、「やや高い」1、「高い」2点とした場合の平均値

分類	施策番号	施策名
地域経済の活性化	①産業力の強化・雇用対策	① 産業振興による雇用確保促進
	②低炭素まちづくり	② 地域ブランドの創出
		③ 新事業・新産業の創出
		④ 農林漁業の担い手の確保・育成
		⑤ 障害者の就労支援
		⑥ 高齢者・若者等の知識・技術の活用
		⑦ 中心市街地のにぎわい創出
		⑧ 生活交通の活性化
		⑨ 再生可能エネルギー導入促進
		⑩ 環境ビジネスの創出
		⑪ 家庭における環境活動の促進
		⑫ 実践的な環境教育の推進
		⑬ 協働による環境にやさしいまちづくり
		⑭ 環境保全対策
	③ときわ公園全国ブランド化	⑮ ときわ公園の整備・活性化
	④観光・にぎわい	⑯ 観光資源・観光ビジネスの創出・活用
		⑰ シティセールスの推進
	⑤中山間地域	⑱ 観光コンベンションの創出・誘致
		⑲ 中山間地域の振興

## 【健康で心豊かなまちづくり】

「地域医療・救急医療の充実」や「健康づくりの推進」などの取組については、重要度も満足度も高くなっています。

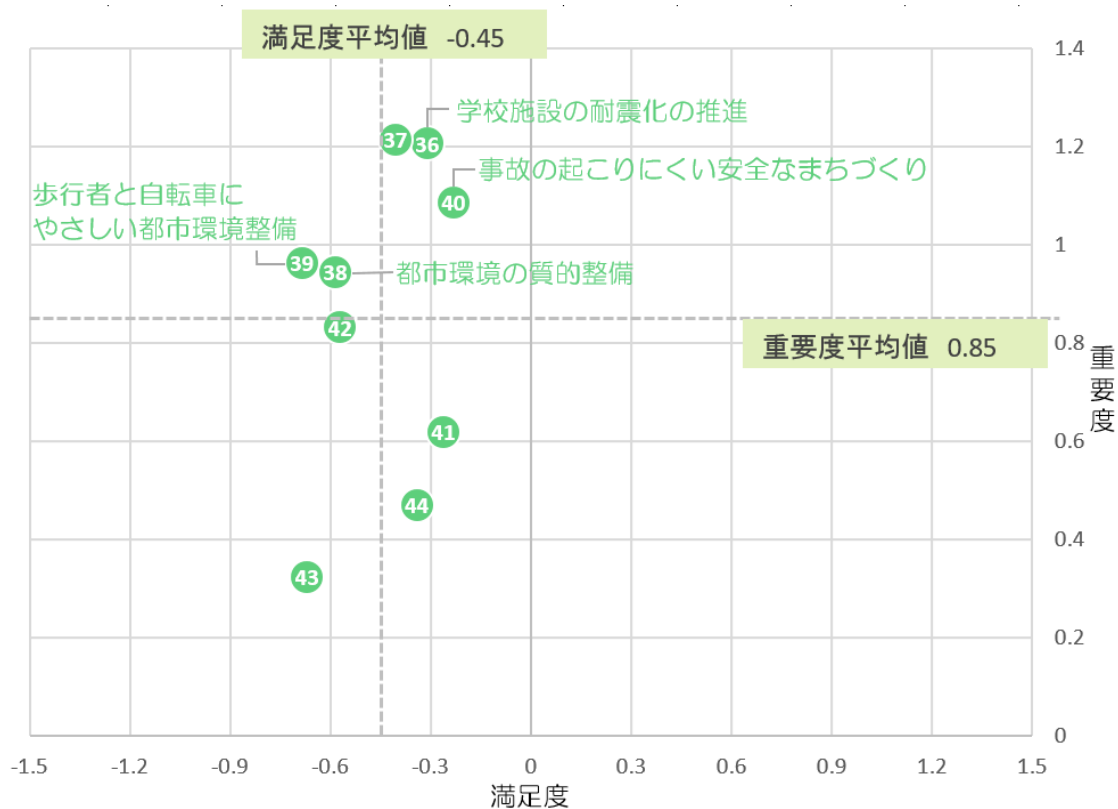
一方で、重要な取組と認識されているものの、満足度が平均値よりも低い取組として、「発達障害児等の教育環境の整備」や「地域医療福祉連携による安心な地域づくりの推進」などが挙げられています。



分類	施策番号	施策名
健康で心豊かなまちづくり	①子育て・教育	20 安心して子育てできる環境づくり
		21 学校教育の充実
		22 国際社会に貢献できる人材養成
		23 学校と地域社会の連携
		24 発達障害児等の教育環境の整備
	②医療・健康・長寿	25 高等教育機関と連携した教育の推進
		26 地域医療福祉連携による安心な地域づくりの推進
		27 地域医療・救急医療の充実
		28 健康づくりの推進
		29 生涯現役社会づくりの推進
	③文化・スポーツ	30 公園緑地の整備・活用
		31 総合的な食育の推進
		32 文化の振興
		33 地域資源とふれあう教育の推進
		34 彫刻文化の継承
	35 スポーツの推進	

## 【安心・安全なまちづくり】

「事故の起こりにくい安全なまちづくり」や「学校施設の耐震化の推進」のための取組が高く評価されている一方で、重要な取組と認識されているものの、満足度が平均値よりも低い取組として「歩行者と自転車にやさしい都市環境の整備」や「都市環境の質的整備」などが挙げられています。



※満足度：「低い」-1、「やや低い」-2、「やや高い」1、「高い」2点とした場合の平均値

※重要度：「低い」-1、「やや低い」-2、「やや高い」1、「高い」2点とした場合の平均値

分類	施策番号	施策名	
安心・安全なまちづくり	①防災・都市基盤	36	学校施設の耐震化の推進
		37	災害に強い安全なまちづくり
		38	都市環境の質的整備
		39	歩行者と自転車にやさしい都市環境整備
	②地域・安全・人権	40	事故の起こりにくい安全なまちづくり
		41	地域コミュニティの充実
		42	災害時の住民共助の推進
		43	大学生等が住みやすく学びやすい生活環境の整備
		44	人権の擁護

## (5) まとめ(課題)

### ■地域特性を生かした「しごと創り」

アンケート調査では、「働く場所が少ない」という声や、今後重点を置くべき取組として、「地域産業の活性化」への意見が多く見られました。

これまで取り組んできた産業振興策に加えて、宇部市の地域特性を生かした「しごと創り」を積極的に進め、安定した雇用創出に取り組んでいく必要があります。

### ■魅力的な都市空間の形成

「娯楽・レジャー施設が不足している」という意見や、今後重点を置くべき取組として、「中心市街地の活性化、にぎわいの創出」や「魅力ある都市環境の整備」が多く挙げられています。

若者をはじめ誰もが、働く、遊ぶ、憩ううえで、快適に過ごすことのできる魅力的な都市空間の形成を進め、中心市街地の活性化、にぎわいの創出を図る必要があります。

### ■安心して子育てできる環境づくり

今後重点を置くべき取組として「子育て支援の充実」が挙げられ、また、重要度が高い取組として「学校教育の充実」が挙げられています。

引き続き、安心して子育てできる環境づくりを進めるとともに、全ての子どもが学び合い、学ぶ楽しさや喜びを実感できる、質の高い教育に取り組んでいく必要があります。

### ■豊かに暮らす長寿社会の実現

今後重点を置くべき取組として、「保健・医療・福祉サービスの充実」が多く挙げられており、少子高齢社会が進む中、保健・医療・福祉の連携強化による地域ケアの充実を図るとともに、認知症対策や障害者の自立支援など、誰もが豊かに暮らす長寿社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

### ■地域の支え合いの再構築

少子高齢化、核家族化が進行する中、「近所づきあい、コミュニティが薄い」という意見や、また、重要と認識するものの満足度が低い取組として、「生活交通の活性化・再生」が挙げられています。

住み慣れた地域で誰もが快適に暮らすうえで、本来地域が有していた「地域の支えあい」を再構築し、地域コミュニティの振興を図るとともに、高齢者の外出支援も踏まえた公共交通の確保・活性化に取り組んでいく必要があります。